

皆さまのハッピーリタイアメントを応援する

Road to happy retirement

お金を賢く使い、生涯にわたり豊かに生活するための“お金”、“ライフプラン”に関する情報をお届けします。お金が貯まる習慣、知識を身につけ、より豊かな人生を送りましょう！ハッピーリタイアメントの実現を応援します！



今月のトピックス

- ① ダメな家計
- ② 岩本の独り言



いつもお世話になり、誠に有難うございます。

一気に寒くなりましたが…、体調など崩されていませんか？

ご家族の体調管理にはくれぐれもご注意ください
いね。

さて、先月の解散総選挙前あたりから、株が上ること上がること。

ついには、バブル崩壊後、20数年ぶりの最高値を更新しました。

私が社会に出て、働き始めてから、今が最も株価が高いということになります。

株価が高いのはよいことです。

でも、「景気いいよね～」と感じますか？

日常生活を送る中で「景気いいな～」と感じる方はそう多くないのかなと感じます。

かくいう私も実感はありませんし。



いつもたくさんのご紹介ありがとうございます。
皆さんとのご縁はとて有り難く思います。日々の生活やお金に関する事で不安を感じている方がおられたら是非ご紹介ください。未来の自分、そして、家族のために賢いお金の使い方、ふやし方、守り方をアドバイスします。

国際化が進み、国内でぐるぐる循環していた時代とは、仕事やお金の流れも大きく変わりました。

また、現在の株価の高止まりは金融政策に依存する部分も小さくありません。

そのため、国際化の進む大企業はこの状況を謳歌できている一方で、一般市民はあまり恩恵をうけられていないという状況と言えるでしょうか？

とはいえ、株価が上がっているのは事実です。

「景気がいい実感がない」だとか、「大企業やお金持ちが得するだけ」など、文句を言っても始まりません。

このようなチャンスをとらえるも、逃がすも自分自身の行動次第。

景気の波や人類、経済の成長・発展をしっかりと身にできるよう、のんびり、じっくり、コツ

コツと運用を行っていきましょう！

私どもも皆様のハッピーライフの実現を全力で応援してまいります。

岩本 貴久

追伸、
皆さんとのご縁、ご紹介いただいたことに対するご縁はとても有り難く、大切にしたいと思っています。

私どもが最も役に立てること、それは、保険やライフプランについての正しい情報提供を行うこと。

それらを通じ、皆様、そして皆様の大切なお知り合いのお役に立てればと思います。

東海FPセンター

<http://www.tokaifp.com>

◆貯金に関するご相談は…

60歳または、65歳から掛け金の1.5倍の年金を受け取る方法

「1.5倍の年金の相談」と声をかけてください。
(年金に限らず、中長期の貯金全般です。)

E-mail : t-iwamoto@tokaifp.com

URL : <http://www.tokaifp.com/jinenkin/>

岩本携帯 : 090-4082-7007

ダメ家計3つの特徴 「赤字家計のボーナス補てん」

毎月赤字で預金を取り崩し、ボーナスをもらってようやく預金額が取り崩し前の水準に戻る。

景気変動や業績不振でボーナスが減ったり無くなったりすると赤字が補てんできず万事休す。

こんな話を聞くとお金のだらしなだけじゃないか、と感じる人もいるかもしれません。

しかし、このような家計は少なくありません。

今回は、どのような家計が、毎月赤字でボーナス補てんをするようになるのか見ていきましょう。

1. お金の流れを把握していない

毎月の収入より支出が多い状態を赤字家計と呼びます。

と、いうことは解決することは簡単で、収入を増やすか支出を減らすかのいずれかとなります。至極当たり前の話です。

しかし、どうすれば収入を増やせるのか？何を変えれば支出が減るのか？という具体策を考えるとどうでしょう？

意外にも何をやったらいいのか？個別の方法は出てこないものなのです。

これはスポーツに例えると、

- ✓ 球技であれば相手より多く点を取って、相手より失点を少なくすればいい
- ✓ 競泳や陸上競技であれば、相手より早くゴールすればいい。

と言っているに等しいものです。

相手よりたくさん点を取れ！

相手より早くゴールしろ！

そんなことは分かっています（笑）。

では、どうやって？という問題ですね。

家計に関しても同じです。

収入を増やせばいい、そんなことは誰でもわかりません。支出を減らせばいい、それが理解できない人はいないでしょう。

しかし、実行に移すことができないのです。

それは、どうやって？という方法を知らないため。お金の流れを把握できておらず、かつ事例や方法を知らないためなのです。

お金の流れを把握するのは難しい話ではありません。

お金を使った事実を記録すればいいだけです。やることは次の3つ。

- (1) 買い物をしたらレシートを忘れずにもらうこと。
- (2) レシートを家計簿などに記入すること。
- (3) 1週間や1か月など一定の期間を区切って、支出をまとめること。

これだけです。

しかし、なかなかできる人はいません。

もし面倒くさいとか、続かないという人は、スマートフォンの家計簿アプリなんかを使ってみることをお勧めします。

どのアプリでも問題ありません。気にすべきは、手間暇がかからず家計が把握できるかどうかだけです。

操作性や視認性など使い勝手も大切かもしれません。

しかし、記録するということが最も大切な事であることを踏まえ、直感でも友達のお勧めでもどちらでもいいので、是非導入してみましよう。

お金の出る部分が見えれば、おのずと支出が減るものです。

知らないままにする。赤字を見て見ぬふりをする。という事が家計管理上最も危険な問題なのです。

2. 支出増と収入減のタイミングで問題が発覚する

家族構成が変わって支出が増えたり、子育てで収入が減ることがあります。

職場復帰しても育児費用が高く、働かない方が手取りが多くなってしまう場合もあります。

支出が増えたり、収入が減る状態がどのくらいの期間続くのかを見極めなければなりません。

長期間支出が増えた状態が続くようであれば、危険。

直ちに支出削減をするべきです。

一方、一時的な支出増であれば仕方ないと割り切る方が良いこともあります。

赤字の状態で冷静にというのも難しいものです。

しかし、家族で話し合うなり、お金に詳しい人に相談するなり、支出が多い状態が何を意味しており、今後どのような影響を与えるのかを早めに知っておくことが必要ですね。

収入の減少も同じ。

育児休業期間中や時短勤務中で一時的に収入が減っているだけの場合、一定の期間が終われば収入は元の水準に戻ります。

一方で、定年退職後や定年後嘱託で働く場合など、収入が全くなくなるか、大幅に下がる場合は根本的に支出を見直す必要があります。

お金の専門家からすれば、当たり前の収入減、支出増であっても、当事者にとっては緊急性の高い死活問題という場合もあります。

本来は事前に準備をしておけばよく、お金を蓄え、支出を事前に減らしておけばよい話です。

しかし、自分の事を客観的に見つめることは、案外難しいものです。

このような問題も、お金の流れを把握し、詳細をつかんでおけば直ちに問題になることはありません。

お金の問題は、事前にどれだけ色々なシチュエーションでの収入、支出について考えることができるかにかかっているのです。

